

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	夏休みの学校開放による「子どもの居場所づくり」試行事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者等が日中働いている小学生のうち、普段学童クラブに入っていない児童	意図	夏休みの日中の「居場所」を作ることにより、保護者が安心して就労できるようにする。
事業内容	夏休み期間（土日・祝日・お盆休みを除く27日間）、保護者等が日中働いている小学生（1～4年生）に対して学校の施設の一部を使用して「居場所」の提供を行う事業を、試行として3校で実施する。			
事業開始から現在までの状況変化				

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	参加延べ児童数（3校計）			1117	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	参加児童の保護者からは、事業実施後のアンケートにおいて高い評価の感想を多く受けた。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 各会場の参加児童数（累計）：小山小学校（368人）、おたかの森小学校（303人）南流山中学校（446人）			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,214,819			
事業費(b)(円)				3,620,819			
うち一般財源				3,620,819			
職員給与費(c)(円)				3,594,000			
人役・職員(人)				0.50			
人役・再任用(人)				0.10			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】	③取組の課題	南流山・鱈ヶ崎・小山・おたかの森小学校に対象児童を限定したため、その他の学校の児童保護者から来年度の事業拡充の要望があった。
②今年度(H29)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】	④今後(H30以降)の改善計画	対象児童の拡充を行う。